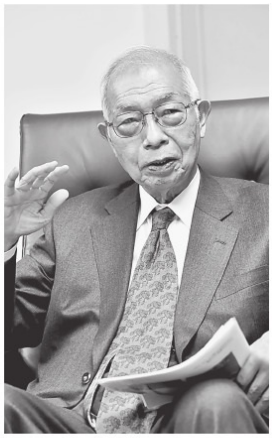
医療とともに　特別編

緊急対談　大腸がん対策 待ったなし

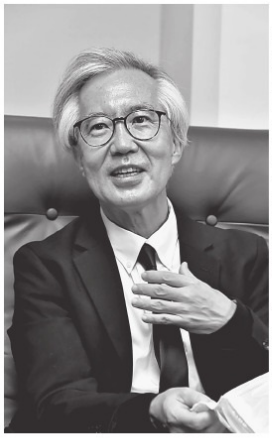
新型コロナウイルスの感染が拡大した影響で、がん検診の受診者が前年比で約3割も減少した一方で、大腸がんでは進行がん患者が激増していることが日本対がん協会などの調査で分かった。大腸がんは特に早期発見が重要で、検診を受けることによって防げる病気ともいわれているだけに事態は深刻。大阪市住之江区では全国に先駆けて1988年から医師会と行政、地域の連携による「住之江方式」と呼ばれる大腸がんの集団検診が導入されたが、大阪府内では依然として受診率は低く、そこに新型コロナが追い打ちをかけた形だ。では、どうすればいいのか。日本対がん協会の垣添忠生会長と放射線治療の専門医、中川恵一・東京大学大学院特任教授に緊急に話し合ってもらった（コーディネーターは元毎日新聞記者でジャーナリストの朝野富三さん）。　【安部拓輝、写真も】



日本対がん協会
垣添忠生会長

かきぞえ・ただお　1967年東京大学医学部卒。国立がんセンター（現・国立がん研究センター）総長などを経て、2007年から現職。著書に「『existential』（実存的）」（朝日新聞出版）など。

コロナ禍　検診控えが深刻



東京大学大学院
中川恵一 特任教授

ながかわ・けいいち　1985年東京大学医学部卒。2021年から現職。03年からは同大学部付属病院緩和ケア診療部長も兼任。著書に「がん専門医が、がんになって分かった大切なこと」（毎日新聞社）など。

朝野　日本のがん患者数は毎年100万人を超え、「がん大国」といわれます。中でも大腸がんが増えていますが、その背景は？

中川　厚生労働省によると、毎年の検診が推奨されている便潜血反応検査（便の受診率は男性が48％、女性が41％です。これに対して米国は約68％です。10年に1度は大腸の内視鏡検査を受けることになっていて、その受診者は6割以上。大腸がんで亡くなる人が激減しました。検診で死亡リスクは4分の1に減りますし、そこでがんが見つかっても半数は内視鏡検査の時に切除できるので、体の負担も最小限に抑えられます。国民の人口は米国がその3倍ほど多いですが、大腸がんよりも年間死亡者数が日本の方が多いのは、検診への意識の違いにあると考えられます。

朝野　早期発見の鍵を握っている検診が、新型コロナウイルスの感染拡大によって大きな影響を受けていると聞きましたが。

垣添　感染者の急増によって人間ドックの受け入れが制限され、病院の診療も一時はストップしました。日本対がん協会のまとめでは、2020年のがん検診受診者は前年比べて約3割減っています。がんに関係する学会と共同で全国のがん拠点病院などを調査して105施設からの回答では、20年のがん診断件数は8万6660件で、前年と比べて9・2％減少しました。主要7種類のがんで4万5000人ほどの診断が遅れているのではないかと推測されます。

朝野　今後、進行したがんが見つかる人が増えるということですね。

中川　コロナの流行前と後では、ステージ0、ステージ1という早期がんの患者数が減った一方で、ステージ3の進行がんが1割増えたという衝撃的な調査結果が出ていて、すでに現実になっているのです。

垣添　大腸がんではステージ1とステージ4は、全く別の病気だといえます。私も大腸がんを経験しました。検便で陽性だったので最初に腸性が出た時はしくて内視鏡検査を受けるのを忘れました。翌年も陽性ですぐに内視鏡検査を受けたら三つのポリープがあり、その場で切除しました。2週間後の説明で一部にがんがあったことが分かりましたが、仕事は一日も休まずに済みました。放置していれば大きくなって腸閉塞や全身転移が起きていたかもしれません。

中川　私も小さな膀胱がんを自分で見つけて内視鏡で切除してもらいました。3日後には退院しています。08年には義妹を大腸がんでなくしました。48歳でしたが、がんが見つかった時にはステージ4でした。検便をするかどうかで運命が変わってしまう。検診の大切さを痛感しています。

※公益財団法人日本対がん協会支部調査

進行がん激増 衝撃データ

早期発見で治る病 運動が予防に有効

コーディネーター
ジャーナリスト
朝野富三さん

朝野　私は毎日新聞大阪本社で記者をしていた時分の、大阪市住之江区医師会だった瀧嶋嘉先生が導入した大腸がんの集団検診を取材してきました。瀧嶋先生は02年に日本対がん協会賞を受賞し、地道な取り組みが認められましたが、残念ながら受診率は低いままです。なぜなのでしょう。

垣添　日本には世界に誇れる国民皆保険制度があります。それへの甘えもあって、病院は体調が悪くなったら行くところだという認識がありますね。

中川　2次検査を受けない理由の一つに「痛い」がありますね。検便が陽性になるのは痔があるからだと思っている人がいるのですが、便潜血反応検査は痔の血液は検出しにくいようにできていて、陽性率にほとんど差はありません。日本ではこれまで検診の大切さを学校で教わなかった影響もあります。学習指導要領が改定され、中学では今年度、高校では来年度から「がん教育」が加わりました。他の難病と比べ、がんは対処できる病気です。中学校の教科書では「身近な大人に向けて、がんに対してどのように対処すれば良いかアドバイスを考えてみましょう」と呼びかけています。今後は、がん検診の大切さが子どもたちから伝わっていくでしょう。

垣添　がんは早く見つけることで治る時代になっているのに、会社を辞めたり解雇されたりする事例が生じているのも問題です。国民の2人に1人がんになる時代。「がん＝死」というイメージを変えて、隠さないでいい世の中にしたい。対がん協会は、がんサバイバーの支援を続けていますし、学校で子どもたちに経験を語ってもらう機会も設けています。

朝野　最後に身近ながんの予防法を。

中川　大腸がんであれば飲酒や肥満などがリスクファクターですが、運動はそれらのリスクを確実に減らします。コロナ下でテレワークが広がりましたが、座り過ぎがんの死亡率を高めるという研究も報告されています。太もも の筋肉を動かさないことが膀胱がんの警戒しているようです。

垣添　私は毎日筋トレストレッチを60分間続け、1万歩以上歩くようにしています。野菜をたくさん食べるよりも運動する方がはるかに効果的です。50歳を超えたら階段の上り下りなどの自重トレーニングをお勧めします。

がん検診に、医療・介護 そして看取りまで
ご相談は健正会はまさきへ
医療法人 健正会　理事長 濵﨑 寛(医学博士)
日本対がん協会賞受賞(平成14年度)
〒559-0014 大阪市住之江区北島3丁目6番27号　TEL06(6681)0361　http://www.kensyokai.com/　医療法人健正会　検索

医療法人 健正会 浜崎医院
〒559-0014 大阪市住之江区北島3丁目6番27号　TEL.06-6681-0361

社会福祉法人健正福祉会 特別養護老人ホーム カサブランカ
〒559-0024 大阪市住之江区新北島8-1-80　TEL.06-6115-1165

介護老人保健施設 はまさき1
〒559-0014 大阪市住之江区北島3丁目6番27号　TEL.06-6681-5660

介護老人保健施設 はまさき2
〒559-0013 大阪市住之江区御崎4丁目11番13号　TEL.06-4702-5530

介護老人保健施設 はまさき3
〒559-0025 大阪市住之江区平林南2丁目4番7号　TEL.06-4702-0880

介護老人保健施設 はまさき4
〒559-0014 大阪市住之江区北島2-11-8　TEL.06-6686-2000